

# 平成26年度 第1回佐久市総合計画審議会 会議次第

日時：平成26年8月29日（金）

午後1時00分～

場所：佐久市役所 全員協議会室

## 1 開 会

## 2 会長あいさつ

## 3 議 事

(1) 第一次佐久市総合計画後期基本計画の進行管理について 【資料1】

(2) 部会の委員構成について

(3) その他

## 4 閉 会

## 平成26年度 第一次佐久市総合計画後期基本計画の進行管理について

平成26年8月

佐久市総合計画審議会事務局（企画部企画課）

### 1 佐久市総合計画審議会について

#### (1) 目的

第一次佐久市総合計画後期基本計画（以下、「後期基本計画」という。）を効果的かつ効率的に推進するため、同計画に定める48施策を対象に、各担当課の進行管理の妥当性を判断する。

参考：佐久市総合計画審議会条例（第1条 審議会の所掌事務）

(1) 市長の諮問に応じ、総合計画に関する事項について調査審議すること。

(2) 市町村の合併の特例に関する法律(昭和40年法律第6号)第5条に規定する新市建設計画に関する事項について調査審議すること。

#### (2) 任期

平成25年8月5日～平成27年8月4日

※諸団体の代表者など、上記の任期中に退任等による役員交代があった場合は、改めて後任の方に残任期間の委員就任を依頼。

### 2 後期基本計画の進行管理

本審議会では、後期基本計画を効果的かつ効率的に推進するため、同計画に定める48施策を対象に、各担当課の進行管理の妥当性を判断することとしている。

昨年度は、計画年度の1年目である平成24年度を対象に、各施策の進行状況について審議した。

### 3 昨年度の審議の課題（答申書より）

#### (1) 判断の根拠となる各種資料について

委員が理解しやすい形で適時に提供されるような配慮が必要。

#### (2) 目標の管理方法について

すべての施策が確実に目標の達成度により管理されるような配慮が必要。

#### 4 今年度の審議について

3を踏まえ、次のとおり取り扱うこととする。

##### (1) 今年度の審議スケジュール

- ・審議対象を明確にすることにより、審議の効率化を図る
- ・全体会議と部会の同時開催を実施

##### (2) 審議対象：平成25年度分の進行管理

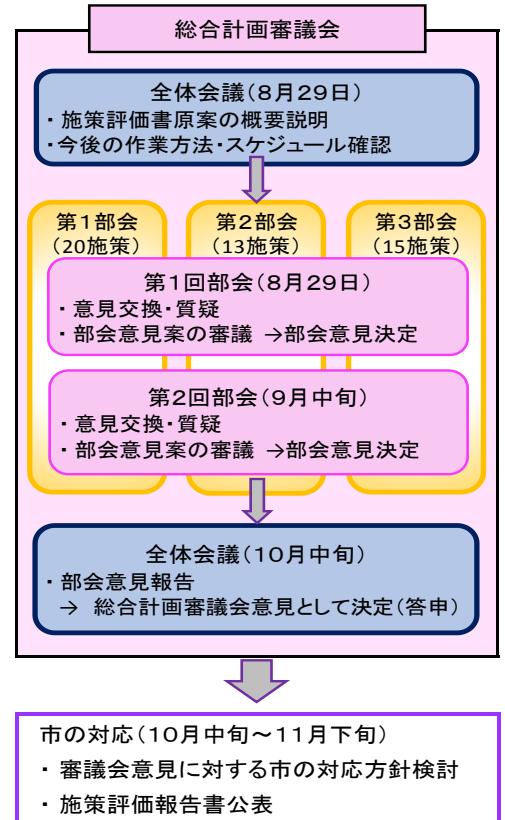
48施策を対象とするが、進行状況の評価に用いる資料を絞り、次の2か所を中心に審議を行う。

- ① 後期基本計画「目標」の進行状況と今後の方針について
- ② 後期基本計画「チャレンジ!!」の進行状況と今後の方針について

##### (3) 部会設置について

審議の円滑化のため、進行管理の詳細は、次の3部会にて審議する。

	部会名	後期基本計画担当箇所（主な分野）
ア	第1部会	第1章(文化、教育、生涯学習) 第6章(防災、行財政、協働)
イ	第2部会	第2章(交通、都市基盤整備、情報化) 第3章(農業、商工業、観光、雇用)
ウ	第3部会	第4章(保健福祉、子育て支援) 第5章(環境保全、公園、上下水道)



##### (4) 部会審議の流れについて

###### 第1回部会【8月29日】

後期基本計画の各施策の「目標」「チャレンジ!!」の進行状況を確認し、当該施策の進行状況进行评估

- ① 事務局より、各施策を説明。
- ② 各施策について質疑応答。

この間に質問・意見等がある場合は、9/12（金）までに事務局へ寄せていただく。

###### 第2回部会【9月中旬】

- ① 引き続き、「目標」「チャレンジ!!」の進行状況を確認し、当該施策の進行状況进行评估（順調に進んでいない項目を中心に審議を進める。）
- ② 部会としての意見案をまとめる。

事務局、審議結果を踏まえ、部会の報告案をまとめる。

###### 事務局より、部会の報告案を送付【9月下旬】

内容を確認、修正がある場合は事務局に連絡 → 報告確定

##### (5) 答申

各部会から、全体会議で報告し、総合計画審議会の意見として集約し、答申を行う。

「目標」の進行状況について

目標の位置づけ: 総合計画後期基本計画の計画期間(平成24年度～平成28年度)で達成しようとする成果指標  
(各施策に対し、概ね1～4つの目標。合計目標数:78)

【「第一次佐久市総合計画後期基本計画「目標」の進行状況(まとめ)】(資料2-2)の見方】

<色別表示の見方>

■: 目標の推移が「順調」

■: 目標の推移が「概ね順調」

■: 目標への進行状況が「やや遅れている」

■: 目標への進行状況が「遅れている」

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移					6 結果の分析	7 今後の方針	備考	(参考) 平成24年度 実績値
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	平成25年度						
							目安値	実績値	評価				
16	131	生涯学習	図書などの貸出し冊数	冊/年	531,901 [H22]	600,000	559,141	534,284	遅れている	前年度に比べ開館日数が5日少なかったこと(2月の大雪による臨時休館2日含む)や、大雪により、開館中でも来館者が激減した日が2週間ほど続いたこと。またシステム更新作業のため、貸出しを行えない期間が10日間あったことなどにより、貸出し冊数が伸びなかった。	平成26年度から始まる読書通帳事業や、望月の読書に心地よい椅子コンテスト等により利用者拡大のための工夫を図る。		567,453
19	132	スポーツ	体育施設延べ利用者数	人/年	631,300 [H22]	700,000	658,780	686,948	順調	佐久総合運動公園陸上競技場の供用開始による利用者の増加	体育施設の効率的・効果的な管理運営について指定管理者制度の導入を検討する。		635,910
27	221	土地利用	宅地面積	ha	2,337 [H21]	2,492	2,399	2,386	概ね順調	宅地面積は増加はしているが、目標値の達成には低い推移となっている。	雇用増加や定住者増加を目指し、適地において工業用地、商業用地などの宅地化の推進を図る。		2,378
29	223	住宅・宅地	住宅マスタープランの策定		未策定 [H22]	策定	部分的策定	部分的策定	やや遅れている	平成26年3月に公営住宅整備計画と位置付ける中で、佐久市公営住宅長寿命化計画を策定した。	今年度予定されている公共施設マネジメント基本方針における公共施設再配置計画(仮称)、平成29年度に策定される第2次総合計画、また、今年度から始まった県の長寿命化計画の見直し状況等を勘案しながら、平成32年度以降の長寿命化計画の見直しを踏まえ、策定期間、内容について考える。		未策定

### ① 計画策定時の値

後期基本計画策定当時の直近の値(ほとんどの項目において、平成22年度の値)

### ② 平成28年度末の目標値

後期基本計画において、平成28年度までに達成すると定めた値

### ③ 目安値

平成28年度の目標達成に向けて、指標が順調に推移しているかどうかの目安を表す値。  
多くの目標において、現状値から目標値に向かって均等に推移することを標準パターンとしている。  
(例:現状値が100人、目標が600人の場合の平成26年度の目安値…300人)  
ただし、均等な推移が見込めないなど、これによりがたい場合は、その指標の特性を踏まえて目安値を再設定。

### ④ 実績値

平成25年度の実績値

### ⑤ 評価

次の基準によって判定を行う。

$T$  : 目標進捗率 = (H25年度実績値 - 現状値) / (H25年度目安値 - 現状値)

区分	H24 (H25年度に評価)	H25 (H26年度に評価)	H26 (H27年度に評価)	H27 (H28年度に評価)
順調	目安値以上の改善 $T \geq 1.0$	同左	同左	同左
おおむね順調	目安値の5割以上 10割未満の改善 $0.5 \leq T < 1.0$	目安値の6割以上 10割未満の改善 $0.6 \leq T < 1.0$	目安値の7割以上 10割未満の改善 $0.7 \leq T < 1.0$	目安値の8割以上 10割未満の改善 $0.8 \leq T < 1.0$
やや遅れている	目安値の5割未満の 改善 $0 < T < 0.5$	目安値の2割超 6割未満の改善 $0.2 < T < 0.6$	目安値の4割超 7割未満の改善 $0.4 < T < 0.7$	目安値の6割超 8割未満の改善 $0.6 < T < 0.8$
遅れている	改善が見られない、 悪化している $T \leq 0$	目安値の2割以下の 改善又は改善なし $T \leq 0.2$	目安値の4割以下の 改善又は改善なし $T \leq 0.4$	目安値の6割以下の 改善又は改善なし $T \leq 0.6$
実績値なし	統計上、実績値が 把握できない	同左	同左	同左

### ⑥ 結果の分析

平成25年度の実績値及びその推移について、評価結果を踏まえて考えられる要因分析や補足説明を記載。

### ⑦ 今後の方針

結果の分析を受けて、目標達成に向けた今後の取り組み方針について記載。

#### 【審議の視点】

- 目標への近づき具合について
- なぜ遅れているのか
- 何をすればより順調に進むか
- 結果の分析は妥当か
- 今後の方針は妥当か
- 今後の取り組みに対する提言 など

第一次佐久市総合計画後期基本計画「目標」の進行状況(まとめ)

資料 2-2

<色別表示の見方>

■:目標の推移が「順調」  
■:目標の推移が「概ね順調」

■:目標への進行状況が「やや遅れている」  
■:目標への進行状況が「遅れている」

第1章 たくましく心豊かな人材の育成と地域文化の保存・継承と発祥

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移						(参考) 平成24年度 実績値		
					計画策定 時の値	平成28年度 末の目標値	平成25年度		結果の分析	今後の方針		備考	
							目安値	実績値					評価
1	111	文化・芸術	貸し館系施設の利用 件数	件/年	8,705 [H22]	9,500	9,023	10,916	順調	芸術文化への関心の高まりや高齢者等の余暇利用から、貸館の利用件数が増えていると考えられる。	利用者の利便性を考え、利用しやすい親しまれる施設運営をしていくとともに、利用する人を支援する施策を検討していく。	目標達成	9,889
2			観覧系施設の延べ入 館者数	人/年	38,844 [H22]	40,000	39,306	35,802	遅れている	各施設とも、企画を考えて実施し入館者増を図っているが、入館者数は変化していないことから、減少傾向は継続していると考えられる。	展示・展覧会の企画に力を入れていくとともに、講演会やワークショップなどの講座を引き続き開催し、入場者の増加に取り組む。		35,802
3			少年考古学教室参加 者数	人/年	67 [H22]	80	72	87	順調	教室の内容を発掘調査体験から作業体験に変更し、参加者が増加した。	少年考古学教室を継続するとともに、児童生徒が参加しやすい時期に開催することや、文化財への関心を高めるための内容などを検討し、「順調」の評価を維持することを目指す。	目標達成	78
4	112	地域間交流・国際 交流	国際交流フェスティ バル延べ参加者数	人/年	2,800 [H22]	3,500	3,080	2,500	遅れている	ポスター、チラシにより広報に努めたが、参加者は目標値を下回った。	民間団体が主体となって開催できるイベントについては、民間団体への移行を図る。		2,750
5			国際交流サロン延べ 参加者数	人/年	319 [H22]	400	351	328	やや遅れている	事業を企画するボランティア団体からのサロン開催希望が減ったことにより、開催回数が減少し、参加者数は目標値を下回った。	国際交流サロンは、外国籍市民と日本国籍市民の交流の場として事業を継続するが、事業の企画、運営をはじめ事務局についても民間団体への移行を検討していく。		309
6			空き家バンク掲載物 件の契約成立件数	件/年	39 [H22]	50	43	59	順調	佐久市空き家バンクの周知が図られていることが契約実績に結び付いている。	利活用可能な空き家の掘り起こしにより、引き続き空き家バンクの充実を図る。	目標達成	47

第1章 たくましく心豊かな人材の育成と地域文化の保存・継承と発祥(続き)

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移						(参考) 平成24年度 実績値		
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	平成25年度		結果の分析	今後の方針		備考	
							目安値	実績値					評価
7	113	人権尊重社会	人権教育・啓発事業などの延べ参加者数	人/年	8,105 [H22]	8,500	8,263	10,135	順調	新たに福祉施設や新任・転入教職員への研修会、また、区に対して学習会について積極的な呼びかけを行ったことで、目標の成果が得られた。	人権同和教育講座や各区への学習会、また、学校・企業での研修会を開催し、市民一人ひとりの人権意識の高揚を図っていく。	目標達成	11,033
8			隣保館活動などの延べ参加者数	人/年	5,227 [H22]	5,300	5,256	6,073	順調	身近な内容の事業であったことと、広く市民に情報提供をしたため、目標の成果が得られた。	地域の実態やニーズに合わせた身近な内容等を取り入れた事業を引き続き実施し、地域住民との交流を促進していく。	目標達成	6,025
9	114	男女共同参画社会	審議会などにおける女性委員の登用率	%	18.1 [H22]	25.0	21	20.5	概ね順調	各課へ呼び掛けてきたことにより、女性委員の登用が微増ではあるが上がってきている。	機会あるごとに各課への呼びかけ協力を仰ぐとともに、一般公募の中に率先して手を挙げていけるような、女性の人材育成を図っていく。		19.7
10	122	学校教育	小学校不登校児童の割合	%	0.36 [H22]	0.32	0.34	0.60	遅れている	家庭環境がより複雑になり、昼夜逆転等で生活リズムが乱れている児童が増加してきているため。	児童相談所や子育て支援課等、関係機関との連携を密にし、児童の家庭環境の大きな変化をいち早くつかみ、適切な対応をしていく。		0.51
11			中学校不登校生徒の割合	%	3.24 [H22]	2.74	3.04	3.46	遅れている	関係機関との連携をより深める努力をしたところ、不登校生徒の数は減少したが、目標値には及ばなかった。	日々の欠席状況の把握や生徒との教育相談の機会を定期的に設けることなどに重点を置き、不登校状況を未然に防ぐための努力をしていく。		3.35
12	123	高校教育・高等教育	奨学金制度利用者数	人/年	32 [H22]	40	35	49	順調	制度の周知が進み利用者は順調に推移している。	制度のPRとあわせ、他の制度や、他の自治体の制度と比較検討し、本制度が、さらに活用されるよう、改善していく。	目標達成	21
13	124	青少年の健全育成	各地区の育成活動への延べ参加者数	人/年	183,139 [H22]	184,000	183,483	146,429	遅れている	年々児童数の減少が大きくH22年度とH25年度を比較すると、児童数は365人減少し、育成会活動への参加延べ人数は36,710人減少となっている。今後も児童数の減少は続くと考えられるので、目標値への達成は難しいと思われる。このような中で、育成会活動や地域体験活動を更に推進するためには、育成会活動の取組に対するアドバイスや他地区との合同開催の提案等による支援が必要である。	各地区の育成会活動への支援として、個々の取組内容に対するアドバイスや他地区との合同開催の提案等を推進する。		167,007

第1章 たくましく心豊かな人材の育成と地域文化の保存・継承と発祥(続き)

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移						結果の分析	今後の方針	備考	(参考)
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	平成25年度		評価	平成24年度実績値				
							目安値	実績値						
14	131	生涯学習	生涯学習市民のつどいなどのイベント延べ参加者数	人/年	31,394 [H22]	32,000	31,636	37,380	順調	参加者数については、イベント数の増減および天候により変動するが、25年度は目標値を超えることができました。	生涯学習の機会に関わる情報の提供は、手法、場所等について工夫を重ねて行く。	目標達成	29,371	
15			公民館事業別延べ参加者数	人/年	37,106 [H22]	38,000	37,464	25,733	遅れている	台風接近による「コーラスまつり」の中止や、2月の大雪により「公民館のつどい」が中止になったことから大幅な減となった。	引き続き、公民館事業参加者の獲得に向け、事業内容の見直しや、事前のPRを実施していく。		33,978	
16			図書などの貸出し冊数	冊/年	531,901 [H22]	600,000	559,141	534,284	遅れている	前年度に比べ開館日数が5日少なかったこと(2月の大雪による臨時休館2日含む)や、大雪により、開館中でも来館者が激減した日が2週間ほど続いたこと。またシステム更新作業のため、貸出しを行えない期間が10日間あったことなどにより、貸出し冊数が伸びなかった。	平成26年度から始まる読書通帳事業や、望月の読書に心地よい椅子コンテスト等により利用者拡大のための工夫を図る。		567,453	
17	132	スポーツ	スポーツ教室延べ参加者数	人/年	4,225 [H22]	5,000	4,535	3,046	遅れている	参加者不足により中止となった教室が5教室あったため、昨年より少ない結果となった。	市民ニーズを把握し、教室の内容を検討するとともに、指導者の発掘・育成をしていく。		4,328	
18			スポーツ大会延べ参加者数	人/年	15,912 [H22]	17,500	16,547	13,644	遅れている	悪天候により、1大会が中止となったが、1大会が新たに加わった事により昨年とほぼ同じ結果となった。	参加チームや参加者の減少している大会は、競技団体と今後のあり方を検討する。		13,453	
19			体育施設延べ利用者数	人/年	631,300 [H22]	700,000	658,780	686,948	順調	平成25年4月に佐久総合運動公園陸上競技場がオープンしたことや、平成23年度に改修を行った白田テニスコートの利用者が年々増加していることによる。	体育施設の効率的・効果的な管理運営について指定管理者制度の導入を検討する。		635,910	



第2章 ネットワークで築く地域の個性・特色を生かした多機能都市づくり

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移							(参考) 平成24年度 実績値	
					計画策定 時の値	平成28年度 末の目標値	平成25年度			結果の分析	今後の方針		備考
							目安値	実績値	評価				
20	211	高速交通 ネットワーク	長野新幹線の延伸 (長野ー金沢間の開 業)		未開業 [H22]	開業		26年度開 業予定	実績値なし	金沢までの延伸開業が平成27 年3月と決定した。列車名につ いても「あさま」の名前が残っ た。	北陸新幹線の佐久平駅停車本数 確保に向けて関係機関へ働きか けて行くとともに、敦賀までの 速やかな着工と金沢ー大阪間の 早期全線開通を目指し関係団体 と協力していく。		26年度開 業予定
21			中部横断自動車道佐 久南インターチェン ジャー八千穂インター チェンジ(仮称)間 の開通		未開通 [H22]	開通		28年度以 降の開通	実績値なし	本区間について、平成26年4月 に国土交通省より平成29年度 に開通と公表された。	29年度開通に向けて、道水路 整備事業、中部横断自動車道調 整事業を進捗させる。 併せて、県施行の県道上小田切 臼田停車場線アクセス道の整備 促進していく。		28年度以 降の開通
22			中部横断自動車道八 千穂インターチェン ジャーから長坂ジャ ンクション(仮称)間 の整備計画格上げ		基本計画 区間 [H22]	整備計画 区間		未定	実績値なし	計画段階評価が行われルート 帯案が決定。今後の対応方針案が まとまり、次に整備区間への格 上げの段階。	今後は、環境アセスの実施、整 備区間格上げに向けて要望活動 を行っていく。		未定
23	212	地域交通 ネットワーク	幹線道路整備延長	m	4,731 [H22]	8,231	6,131	7,440	順調	事業用地取得などが順調であ ったため、目安値以上の進捗と なった。	財源確保、コスト縮減に努め整 備延長を確保する。		6,127
24			都市計画道路整備延 長	m	59,527 [H22]	63,377	61,067	66,400	順調	中部横断自動車道の整備が進ん だことにより、目標値を大幅に 上回った。	すでに目標値を達成したが、引 き続き、今後も整備に努める。	目標 達成	64,845
25			アダプトシステム管 理箇所数	箇所	3 [H22]	19	9	17	順調	新規供用路線を中心に、積極的 に事業への参加を提案しており 、実績に結びついている。	アダプトシステム事業を周知 し、大勢の市民の方々に参加し ていただくように普及を推進し ていく。		16
26			公共交通延べ利用者 数	人/年	113,538 [H22]	125,000	118,123	103,595	遅れてい る	商業施設への停留所の新設、バ リアフリーバスを導入して間が ないため、その効果は未だ顕著 でないと認められる。	公共交通乗車体験イベントの開 催、利用者のニーズを反映した 路線変更等により、利用者の確 保に努める。		108,768
27	221	土地利用	宅地面積	ha	2,337 [H21]	2,492	2,399	2,386	概ね順調	幹線道路及び都市計画道路の整 備の進捗に伴い、沿線農地の転 用等により、宅地面積が増加し た。	雇用増加や定住者増加を目指 し、適地において工業用地、商 業用地などの宅地化の推進を図 る。		2,378

第2章 ネットワークで築く地域の個性・特色を生かした多機能都市づくり(続き)

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移						(参考) 平成24年度 実績値		
					計画策定 時の値	平成28年度 末の目標値	平成25年度			結果の分析		今後の方針	備考
							目安値	実績値	評価				
28	222	市街地	跡部臼田線・龍岡城 駅線の整備率	%	0.4 [H22]	100	40	46.18	順調	事業費全体に占める用地補償費 の事業割合が高く、地権者との 契約率が高かったため目安値以 上の結果となった。	事業完了にむけて、今後も事業 を進めていく。		32.46
29	223	住宅・宅 地	住宅マスタープラン の策定		未策定 [H22]	策定	部分的策 定	部分的策 定	やや遅れ ている	平成26年3月に公営住宅整備計 画と位置付ける中で、佐久市公 営住宅長寿命化計画を策定し た。	今年度予定されている公共施設 マネジメント基本方針における 公共施設再配置計画(仮称)、 平成29年度に策定される第2 次総合計画、また、今年度から 始まった県の長寿命化計画の見 直し状況等を勘案しながら、平 成32年度以降の長寿命化計画 の見直しを踏まえ、策定期期、 内容についてについて考える。		未策定
30	231	高度情報 通信ネッ トワーク	電子申請の件数	件/年	289 [H22]	500	373	1,658	順調	利用項目が増加したことによ り、利用機会も増加したため、 数値が緩やかに伸びた。	目標値を超える結果の維持に努 める。	目標 達成	909

第3章 100万経済圏を目指した産業基盤の強化と新たな産業の創出

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移						(参考) 平成24年度 実績値		
					計画策定 時の値	平成28年度 末の目標値	平成25年度			結果の分析		今後の方針	備考
							目安値	実績値	評価				
31	311	農業	認定農業者数	経営体	268 [H22]	310	285	269	遅れている	農業者の高齢化により、認定農業者を更新しない方がいるため、減少傾向である。	農業後継者等若い農業者へ認定農業者制度を理解してもらい、育成することで目標の達成を目指す。		270
32			農業アシスタント数	人	20 [H22]	70	40	41	順調	平成25年より、野菜の講習会を新品目圃場で開催し、受講者数の増加につながっている。	様々な品目の講習会を開催し、受講者を増やす。		18
33			農業法人数	法人	16 [H22]	20	18	22	順調	経営の安定化を図るため、法人化する農業者が増加している。	国の事業等を利用しながら、法人化を目指す農業者を支援する。	目標達成	21
34			農畜産物産出額	億円/年	108 [H18]	110				(本項目は、国が市町村別の統計調査を行っていたが、平成18年度調査を最後に調査が行われなくなった。現在、全国市長会を通じて、国に対し、調査の復活の要望を行っている。)			データ入手不可能
35	312	水産業	佐久鯉出荷	t/年	110 [H22]	115	112	99	遅れている	以前に比べて需要が減少している。	料理教室などを開催し、佐久鯉の様々な調理をPRする中で、需要の拡大を図る。		99
36	313	林業	森林整備面積	ha/年	610 [H22]	780	678	520	遅れている	平成24年度より森林整備に対する補助要件が厳しくなったため、目標とした面積に至らなかった。	市有林の整備を推進し、目標とする森林整備面積を達成させる。		430
37	321	商業・サービス業	商品販売額	億円/年	1,994 [H19]	2,100	2,036	未公表	実績値なし	経済状況がデフレ傾向にあり平成19年から平成24年は販売額が17.0ポイント減となっている。平成26年には経済センサスが実施されることから調査結果を注視していきたい。	商品販売額は、平成9年から下落しており、目標値の達成は厳しい状況にあると思えるが、空き店舗対策に伴う補助金を平成26年度に創設し、空き店舗の解消に努め商店街の環境整備を図り商品販売額の増加を目指す。		1,656
38	331	観光	市内への延べ入込客数	万人/年	162 [H22]	190	173	148	遅れている	2月の豪雪により、新幹線等の交通網がマヒしたため観光客が大幅に減少した。	自然災害はやむを得ないことから、今後も誘客宣伝活動を積極的にを行い効果的なPR活動を展開する。		152

第3章 100万経済圏を目指した産業基盤の強化と新たな産業の創出(続き)

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移						(参考) 平成24年度 実績値		
					計画策定 時の値	平成28年度 末の目標値	平成25年度			結果の分析		今後の方針	備考
							目安値	実績値	評価				
39	341	工業	製造品出荷額	億円/年	2,061 [H22]	2,500	2,237	集計中	実績値なし	製造品出荷額は現在集計中であるが、目標は達成していないと思われる。	さらに、企業立地の推進と、市内工業の活性化のため、各種事業を実施していく。		1,703
40	351	就労・雇用	就職相談会参加者数	人/年	113 [H22]	130	120	110	遅れている	開催日の調整により、平成24年度に比べ、大幅に参加者が増加したが、目標は達成できなかった。	就職活動時期の変更などがあることから、実施時期の変更等の対応が必要		73
41			インターンシップ実施学生数	人/年	7 [H22]	15	10	8	やや遅れている	始まったばかりの事業のため、PRの効果などで、参加人数も増えてきたが、目標には達しなかった。今後についても、受入事業所及び参加学生へのPRが重要である。	受入事業所の登録数を増やし、参加する学生の選択の幅を広げていきたい。		6

第4章 みんなが生涯現役で住みよい健康長寿のまちの形成

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移						(参考) 平成24年度 実績値		
					計画策定 時の値	平成28年度 末の目標値	平成25年度			結果の分析		今後の方針	備考
							目安値	実績値	評価				
42	411	福祉のまちづくり	福祉体験教室開催回数	回/年	14 [H22]	16	15	16	順調	多くの学校等に事業の目的を説明し、協力を得て体験教室を開催できた。	今後も多くの学校に事業の目的を説明し、体験教室を開催することによりボランティア意識の向上を図る。	目標達成	10
43	412	高齢者福祉・介護保険	介護予防事業の延べ参加者数	人/年	19,095 [H22]	23,500	20,857	23,781	順調	二次予防高齢者施策の介護予防ふれあいサロン事業の参加者が増加、一般高齢者施策では、各事業において参加者が増加した。高齢者人口の増加とともに、高齢者の介護予防へのニーズが高まっていると考えられる。	今後もこの水準を維持していきたい。	目標達成	20,000
44	413	障がい者福祉	相談支援事業実施事業所数	事業所	5 [H22]	20	11	12	順調	障がい者の福祉に関する様々な問題について相談に応じ、福祉サービス利用のための情報提供等を行う関係機関と支援会議を行うなかで、相談支援の充実が図られてきている。	相談支援事業所及び相談支援専門員等との連携協力するなかで、障がい児(者)のニーズを的確に把握し、満足度を高められるよう事業を実施していく。		11
45	414	母子父子福祉・低所得者福祉	高等技能訓練促進費・自立支援教育訓練給付金受給者数	人/年	4 [H22]	6	5	5	順調	広報への掲載回数を年1回から2回に増やし、制度の周知に努めたことにより、受給者数が順調に推移している。	母子家庭等の経済的な自立を支援するため、広報への掲載を適宜増やし、諸制度の周知と利用拡大を図る。		5
46	421	健康増進	ぴんころステーション延べ参加者数	人/年	1,715 [H22]	2,000	1,829	1,286	遅れている	野沢山門市は、観光客の方が多く市民が少ないため開催回数を減らした。また、冬季は戸外での開催のため、健康相談にふさわしくない環境であることから冬季の開催を減らした。	ぴんころステーション実施箇所の拡大を図る。		1,080
47			3歳児のむし歯保有率	%	26.71 [H22]	20.00	24	25.12	やや遅れている	健診判定基準が見直され、サホライド塗布歯の分類変更が行われたことが一因とも考えられる。	子どもの歯の教室等、様々な機会を有効に活用し、むし歯保有率の減少を図る。		20.89
48	422	保健活動	メタボリックシンドローム該当者・予備軍の割合	%	25.2 [H22]	15.2	21	集計中	実績値なし	現在集計中だが、割合は大きく変化していないものと思われる。	医療機関との連携を図るなどし、特定保健指導や結果報告会での指導を充実させる。		26.6

第4章 みんなが生涯現役で住みよい健康長寿のまちの形成(続き)

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移						(参考) 平成24年度 実績値		
					計画策定 時の値	平成28年度 末の目標値	平成25年度		結果の分析	今後の方針		備考	
							目安値	実績値					評価
49	423	医療	浅間総合病院第二次 整備事業進捗率	%	0 [H22]	100	40	7.00	遅れている	国の交付金事業である地方都市リノベーション事業採択のため、事業スケジュールを変更したことにより当初計画と比べ事業進捗が遅れている。	新たな事業スケジュールにより、事業進捗を図る。		4.55
50	424	医療保険・国民年金	国民健康保険税収納率(現年課税分)	%	90.26 [H22]	100	94	93.48	概ね順調	督促・催告状の発送・臨戸訪問・全職員での滞納整理による収納の増、未申告者への申告勧奨での適正賦課	督促・催告書の送付及び臨戸訪問、全職員での滞納整理、未申告者への申告勧奨を行う。国税を中心とする専任徴収員の配置を検討する。		91.78
51	431	母子保健	こんにちは赤ちゃん事業における新生児訪問率	%	96 [H22]	100	98	98.00	順調	こんにちは赤ちゃん事業が地域に浸透している。	生後4か月以内に訪問できるよう、実施をさらに強化していく。		97.80
52	432	子育て支援・児童福祉	子育てサロンの延べ利用者数	人/年	7,908 [H22]	8,300	8,065	8,857	順調	育児講座や親子遊びの充実により利用者数が増加した。	育児不安の軽減を図るため、利用者アンケート結果や要望等についてスタッフ会議で検討し、事業に反映する。	目標達成	8,753
53			つどいの広場の延べ利用者数	人/年	15,099 [H22]	15,800	15,379	14,206	遅れている	大雪の影響により開催日数が減少したことで昨年度より参加者数が若干減少しているが、気軽に集い、交流できる場として提供でき、また子育て相談の場として、育児不安の軽減を図ることができた。	講習内容について、参加者の要望をスタッフ会議で検討し、事業の改善を図る。子育てサークル等の活動実態を把握し、場所の提供などの支援を行う。県と連携し、仕事に対する不安や悩みを抱えた子育て世帯の女性に対して相談支援を行う。		14,370
54			児童館の延べ利用者数	人/年	303,975 [H22]	319,000	309,985	273,510	遅れている	目標は達成していないが、H25年度実施したニーズ調査の結果から、児童に健全な遊びを与え、働きながら子育てをしている家庭の生活支援施設としての市民満足度は高い。	平成25年度の養護学校児童生徒の受入実績がないことから、受入先の児童館やその体制等について検討を進める。		280,265

第5章 水と緑きらめく自然と共に生きる快適環境の創出

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移						(参考) 平成24年度 実績値		
					計画策定 時の値	平成28年度 末の目標値	平成25年度			結果の分析		今後の方針	備考
							目安値	実績値	評価				
55	511	環境保全	市内家庭の総消費電力	Mkw/年	239,143 [H22]	191,315	215,230	232,069	やや遅れている	ライフスタイルなどによるエネルギー需要の固定化。	近年の異常な暑さや、積雪量の増加なども勘案しつつ、目標達成のために広報を充実させる。		234,346
56	512	街並み緑化・公園・景観形成	平尾山公園の入場者数	人/年	411,947 [H22]	420,000	415,168	348,927	遅れている	景気などの社会情勢や天候等の影響により入場者の減少がみられる。	公園全体の利用者数が減少する中、昆虫体験学習館の入場者は増加したことから、企画等を充実することで利用者数の増加を図る。		386,238
57			都市公園の整備面積	m <sup>2</sup> /人	7.94 [H22]	9.82	9	8.49	概ね順調	市民交流ひろばの開園、佐久総合運動公園補助競技場等の整備により公園面積は増加している。	佐久総合運動公園の整備を計画どおり進めていく。		8.11
58	521	環境衛生	家庭系ごみの排出量	t/年	21,384 [H21]	19,591	20,667	19,621	順調	資源物が減量している一方、分別不足により可燃・埋立ごみは増加している。	市民に対し可燃・埋立ごみの分別徹底を啓発強化し呼びかける。	目標達成	20,297
59			事業系ごみの排出量	t/年	5,296 [H21]	4,670	5,046	5,705	遅れている	資源物・可燃ごみ共に分別不足により増加している。	大量排出事業者に対し、直接ごみの減量・分別徹底を指導するなど、啓発を強化する。		5,754
60	522	上水道	上水道有収率	%	84.0 [H22]	90.0	86	83.7	遅れている	平成25年度は83.7%となり、前年度と比較して0.5ポイント下回り、施設の老朽化等による漏水量の増加が考えられる。	水資源を有効に活用するため、有収率向上の施策を積極的に検討する。		84.2
61			水源余裕率	%	16.2 [H22]	22.0	19	16.4	遅れている	水源水量、一日最大配水量ともに大きな変化がないことから、指標値はほぼ横ばいに推移している。	将来に向け安定した水の供給を維持していくため、適正な水源水量の確保に努める。		16.9
62	523	下水道	下水道整備面積	ha	2,931 [H22]	3,032	2,971	2,952.8	やや遅れている	平成25年度は西屋敷地区、荒宿地区など6.52haの整備を計画的に行い、整備面積は着実に増加している。	未整備地区の優先順位を考慮し、下水道の整備促進を図る。		2,946.3
63			水洗化率	%	86.9 [H22]	90.9	89	90.6	順調	消費税増税の要因によって新規下水道接続件数が増加したと考えられる。	公共下水道区域の未接続世帯を対象に個別訪問を実施し、水洗化の促進を図る。		89.5
64			下水道使用料収納率(現年分)	%	96.8 [H22]	100	98	97.0	やや遅れている	25年度は年度末(2月)の大雪が影響し、交通に支障が生じたため、この時期の収納率が低下し、翌年度収入にずれ込んでしまったことにより、下水道使用料収納率が目標値に若干達しなかった。	口座振替を推進するため、現金納付者の納入通知書すべてに推進チラシ及び口座振替依頼書を同封。また、滞納処分を視野にいたった滞納整理強化を検討する。		97.1

第6章 市民生活の安全確保と市民満足度の向上

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移						(参考) 平成24年度 実績値		
					計画策定 時の値	平成28年度 末の目標値	平成25年度			結果の分析		今後の方針	備考
							目安値	実績値	評価				
65	611	防災	自主防災組織設置区数	区	230 [H22]	239	234	233	概ね順調	地域での会合に出向き、地域防災力を訴えた結果が表れたと感じている。	自主防災組織を現実的に設置できない地域への対応策を区長と相談し、安全・安心へ繋げる取り組みを図る。		232
66			地域自主防災訓練実施区数	区	143 [H22]	239	181	122	遅れている	平成25年度は、中込地区が佐久市総合防災訓練の参加に代えたこともあり下降したが、全体で見ると上がってきている。	これまでは、組織編成だけに留まっていたが、新規に訓練に取り組みを始めた地域も微増している。いつくるかわからない備えではなく、いつか必ず来る備えに地域防災への高揚を図る。		134
67	612	消防・救急	消防団協力事業所数	事業所	57 [H22]	100	74	96	順調	協力事業所に対する県税の優遇制度・佐久市の入札優遇制度の効果や、災害時における消防団の重要性が広く理解されてきていることが順調な推移につながったと考えられる。	今後も引き続き消防団協力事業所の募集を呼び掛けていく。		93
68			火災発生件数	件/年	61 [H22]	25	47	43	順調	火災予防のビラ配布、独居老人への火災予防訪問、気象乾燥時の野焼注意の広報等の予防消防活動により、住民の火災に対する注意が高まったことが発生件数の減少につながったと考えられる。	火災発生件数は年度により一律な減少とはいかないが、目標値に向けて予防消防活動を行っている。		64
69	613	交通安全	交通安全大会、各種講習会などの延べ参加者数	人/年	10,442 [H22]	16,000	12,665	11,068	やや遅れている	実施回数は前年比増加しているものの、参加者数に減少が見られた。	交通安全市民大会、各種講習会等の開催要請を、関係機関団体に行い、教育啓発活動を推進する。		15,563
70	614	防犯	犯罪発生件数	件/年	1,079 [H22]	835	981	933	順調	昨年より件数は増えているが、全体的に減少傾向である。しかし、年々巧妙化する、振り込め詐欺を代表とする特殊詐欺事件が増加している。	夜間の犯罪防止のための防犯灯設置をはじめ、地域が一体となった防犯体制及び活動の更なる充実を図る。		872
71	615	消費生活	消費生活展、街頭啓発、講習会などの実施回数	回/年	35 [H22]	60	45	31	遅れている	老人クラブ対象の講習会が、全クラブ中、半数に留まっていることから、達成できなかった。	市内全老人クラブによる講習会の開催協力を要請する。		26



第6章 市民生活の安全確保と市民満足度の向上

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移							(参考) 平成24年度 実績値	
					計画策定 時の値	平成28年度 末の目標値	平成25年度			結果の分析	今後の方針		備考
							目安値	実績値	評価				
72	621	協働のまちづくり	佐久市市民活動サポートセンター登録団体数	団体	- [H22]	300	120	120	順調	登録団体増加のための広報活動を行ったため、登録団体数が増加した。	登録団体を増やすため、ホームページ、機関紙などを活用し、広く告知する。	97	
73			佐久市まちづくり活動支援金事業を活用する団体数	団体/年	- [H22]	10	4	1	やや遅れている	佐久市まちづくり活動支援金が利用されにくい制度であったため、登録団体数が減少した。	平成25年度に利用しやすくなるよう、制度の見直しを行った。今後は、まちづくり支援金の認知度を高めるため、積極的なPRを行う。	6	
74	621	協働のまちづくり	各審議会など全体公募委員割合	%	3.2 [H22]	10.0	6	5.4	概ね順調	市民参加型市政の推進により、市民の関心が高まっているが、認知度が低いため、応募は平成24年度と同じ数となった。	審議会等委員の公募PR等を行い、各審議会などへの市民公募委員割合の拡大に努める。	5.4	
75	622	コミュニティの育成	区への加入率	%	87.57 [H22]	90.00	89	86.30	遅れている	都市化の進展と共に、区への加入率も低下しており、共助の精神は希薄化する傾向にある。	魅力あるコミュニティ活動を支援するため、区の活動費等に対して交付金を交付する。また、新たな連携の方法についても模索していく。	86.77	
76	623	公共施設	新規指定管理者制度導入施設数	施設/年	1 [H22]	1	1	1	順調	市民交流ひろば(公園緑地課所管)の開園に伴い、新規で1件導入した。他の施設については、平成25年度において導入する施設はなかった。	指定管理者制度を導入することが効果的であると判断される施設については、各課と調整し、導入に向けた調整を行っている。	目標達成	3
77	624	行財政	市税収納率(現年課税分)	%	97.25 [H22]	100	98.30	98.26	概ね順調	差押処分の強化により、概ね順調な結果となった。	引き続き差押などの滞納処分を強化していく。	97.86	
78	625	広域連携	定住自立圏による事業実施数	事業	- [H22]	25	10	32	順調	具体的な取り組みの開始から2年目を迎え、制度がより浸透したことにより、事業実施数が増えたものと考えられる。	引き続き関係市町村との連携・協力を図り、定住自立圏による事業を推進していく。	目標達成	31

章別まとめ	順調	概ね順調	やや遅れている	遅れている	その他 (集計中など)
1 たくましく心豊かな人材の育成と地域文化の保存・継承と発祥	8	1	1	9	0
2 ネットワークで築く地域の個性・特色を生かした多機能都市づくり	5	1	1	1	3
3 100万経済圏を目指した産業基盤の強化と新たな産業の創出	2	0	1	5	3
4 みんなが生涯現役で住みよい健康長寿のまちの形成	6	1	1	4	1
5 水と緑きらめく自然と共に生きる快適環境の創出	2	1	3	4	0
6 市民生活の安全確保と市民満足度の向上	6	3	2	3	0
<b>総合</b>	<b>29 項目</b>	<b>7 項目</b>	<b>9 項目</b>	<b>26 項目</b>	<b>7 項目</b>

## 「チャレンジ！！」の進行状況について

「チャレンジ！！」の位置づけ：総合計画後期基本計画の計画期間の5年間のみならず、長期的な視点から各施策が目指すべき方向を示すもの。  
 いずれも「目標」よりハードルを上げ、相当程度努力をしないと達成が難しい項目を掲げている。  
 （各施策に対し、概ね1つ設定。合計「チャレンジ！！」数：46）

【「第一次佐久市総合計画後期基本計画「チャレンジ！！」の進行状況(まとめ)」（資料3-2）の見方】

## 見本

※ 事務局による類型  
 ■：A 「チャレンジ!!」達成済  
 ■：B 具体的取り組みを実施中  
 □：C 未着手（取り組みを検討中）

施策コード	施策名	チャレンジ	平成25年度の取り組み		② 今後の方針
			類型 ※	① 取り組み状況	
131	生涯学習	周辺市町村との連携により、公共図書館の広域ネットワークの構築を目指します。	□ 未着手（取り組みを検討中）	佐久地域定住自立圏検討部会（社会教育部会）において、定住自立圏により推進する具体的取組として、図書館ネットワークシステムの構築について検討したが、取り組まないとした市町村が多く、すぐに取り組むことは難しい状況である。	各市町村において、図書館システムの構築方法、契約年数等や、利用登録についての制限等の違いがあるため、現状では難しい状況であるが、時間をかけての検討が必要と思われる。
132	スポーツ	全国大会などで活躍が期待される競技者の育成を促進するとともに、一流のスポーツに触れ感動する機会の充実を図ります。	■ 具体的取り組みを実施中	A C長野パルセイロのホームゲーム開催を市広報誌やFMさくいだいらを活用して、地域に呼びかけるなど一流のスポーツに触れ、感動する機会の提供を行った。	佐久総合運動公園陸上競技場や総合体育館、整備予定の武道館を活用し、競技者の育成を図るとともに、一流のスポーツに触れる機会を企画立案していく。
511	環境保全	市内の自然エネルギーを用いた電力自給率、3%を目指します。	■ 「チャレンジ!!」達成済	平成25年12月末の時点で、市内における自然エネルギーを用いた電力自給率は、4.52%であり、後期基本計画の目標である電力自給率3%を大幅に超えた。	新たに策定した「佐久市環境エネルギー重点プラン」に基づき、平成29年度までに市内の再生可能エネルギーを用いた電力自給率8%を目指していく。

## ① 取り組み状況

後期基本計画「チャレンジ!!」の取り組み状況について記載。

## ② 今後の見通し

後期基本計画「チャレンジ!!」の今後の見通しについて記載。

## 【審議の視点】

- 「チャレンジ!!」の取り組み状況について
- ・ なぜ未着手か
  - ・ 何をすればより順調に進むか
  - ・ 取り組み状況は妥当か
  - ・ 今後の見通しは妥当か
  - ・ 今後の取り組みに対する提言 など

第一次佐久市総合計画後期基本計画「チャレンジ!!」の進行状況(まとめ)

資料 3-2

※ 事務局による類型  
 ■:A 「チャレンジ!!」達成済  
 ■:B 具体的取り組みを実施中  
 □:C 未着手(取り組みを検討中)

第1章 たくましく心豊かな人材の育成と地域文化の保存・継承と発祥

施策コード	施策名	チャレンジ	平成25年度の取り組み		今後の方針
			類型 ※	取り組み状況	
111	文化・芸術	文化関連施設が連携して、新たな事業に取り組むことにより、施設の魅力を高め、利用者の増加と文化振興を図ります。	B ■ 具体的取り組みを実施中	文化施設の館長等の会議を開催し、連携した取り組みの検討を行った。情報交換を行い各施設の企画等に生かすとともに、平成26年度に文化施設スタンプラリーを試行することを決定した。	平成26年度に文化施設スタンプラリーを試行する。文化施設の館長等の会議を継続し、各施設が連携した新たな取り組みを検討する。
112	地域間交流・国際交流	交流人口創出プログラムの実施により、1000万交流圏の観光・文化・スポーツ交流拠点づくりを推進します。	B ■ 具体的取り組みを実施中	移住等希望者への様々な情報発信により、移住交流の促進を図った。また、友好都市等との交流事業では、首長、議長はもとより、民間レベルでの各種交流事業を促進した。	空き家バンクの充実により、移住等希望者の受け入れを図る。また、友好都市等との各種交流事業の推進により、交流人口の増大を図る。
113	人権尊重社会	すべての市民がお互いを尊重し、思いやる差別事象0(ゼロ)のまちを目指します。	B ■ 具体的取り組みを実施中	・差別事象ゼロを目指し、人権意識の醸成と意識改革を図るため、小学生を対象にした「人権の花運動」や広く市民を対象として、「巡回指導事業」「人権同和教育講座」等各種学習会を開催した。 ・隣保館(人権文化センター)では、生活文化の向上と、人権意識の高揚、住民福祉の向上を目指し、啓発・広報活動の実施及び各種教室を開催し交流を図った。生活人権相談員の配置により相談体制の充実・強化を図った。	・今後も、差別やいじめ、虐待等による人権侵害をなくすため、各種事業を推進し、人権意識の醸成と意識改革を図っていく。 ・隣保館(人権文化センター)では、各種事業において啓発活動を推進し、市民一人ひとりの人権意識の高揚を図っていく。
114	男女共同参画社会	DV被害にあった時に、市役所に相談窓口があることを知っている市民の割合が100%になることを目指します。	B ■ 具体的取り組みを実施中	広報や啓発運動等を通じて、DV被害の深刻さ、また被害にあった時の相談等の周知を行った。	今後も様々な媒体、及び県、圏域のネットワークによる連携を図り、啓発を行っていく。
122	学校教育	中学校区ごとの教育推進会議を中心に、小学校から中学校に子どもたち一人ひとりの教育成果・課題をスムーズに引き継ぎ、小中学校間で指導の方針や方向を共有して、義務教育9年間の学びの充実を目指します。	B ■ 具体的取り組みを実施中	中学校区ごとの教育推進委員会により、小中学校間での日常的な交流の推進を図った。特に、中学校の英語科教師とALTによる小学校での出前授業、中学校区内の小中学校教師の合同研修など中学校区ごとに工夫して取り組んだ。	中学校区ごとの取り組みを継続するとともに、市教育委員会では、児童生徒の一層の学力向上を願い、学力向上会議、(小中学校)研究主任会議などを通じて教師の指導力の育成を図っていく。また、一人でも多くの不登校生が学校に戻ることができるよう不登校となっている子どもたちを温かく支援していく。
123	高校教育・高等教育	本市の環境を生かした高等教育機関の誘致など、高等教育機会の拡充を促進します。	B ■ 具体的取り組みを実施中	高等教育機会の拡充策として、奨学金の貸付を通じた高等教育への就学支援を行った。	本市に適した形で高等教育機会の拡充を推進できるよう、環境整備を進める。

第1章 たくましく心豊かな人材の育成と地域文化の保存・継承と発祥(続き)

施策コード	施策名	チャレンジ	平成25年度の取り組み		今後の方針
			類型 ※	取り組み状況	
124	青少年の健全育成	家庭・学校・地域・関係団体との連携を強化し、青少年を健全に育成する地域ぐるみの取り組みを充実させます。	B 具体的取り組みを実施中	家庭・学校・地域・関係団体との連携を強化するためには、育成推進員・補導委員としての自覚を持ち、地域へ出て広く市民に青少年健全育成活動を広げて行くことが重要である。そのためには各委員の資質の向上が不可欠となるので、研修会や関係団体との合同活動等を実施した。また、青少年健全育市民集会の実施により、広く市民に啓発した。	今後も研修会や合同活動等の場を提供し、育成推進員・補導委員が地域で十分な活動が出来るよう支援することで、取組を充実するすると共に、引き続き青少年健全育市民集会を実施し、市民に啓発していく。
131	生涯学習	周辺市町村との連携により、公共図書館の広域ネットワークの構築を目指します。	C 未着手(取り組みを検討中)	佐久地域定住自立圏検討部会(社会教育部会)において、定住自立圏により推進する具体的取組として、図書館ネットワークシステムの構築について検討したが、取組まないとした市町村が多く、すぐに取り組むことは難しい状況である。	各市町村において、図書館システムの構築方法、契約年数等や、利用登録についての制限等の違いがあるため、現状では難しい状況であるが、時間をかけての検討が必要と思われる。
132	スポーツ	全国大会などで活躍が期待される競技者の育成を促進するとともに、一流のスポーツに触れ感動する機会の充実を図ります。	B 具体的取り組みを実施中	A C長野パルセイロのホームゲーム開催を市広報誌やFMさくだいらを活用して、地域に呼びかけるなど一流のスポーツに触れ、感動する機会の提供を行った。	佐久総合運動公園陸上競技場や総合体育館、整備予定の武道館を活用し、競技者の育成を図るとともに、一流のスポーツに触れる機会を企画立案していく。

## 第2章 ネットワークで築く地域の個性・特色を生かした多機能都市づくり

施策コード	施策名	チャレンジ	平成25年度の取り組み		今後の方針
			類型 ※	取り組み状況	
211	高速交通ネットワーク	松本・佐久間の地域高規格道路の建設実現を目指します。	B 具体的取り組みを実施中	松本地域、上田地域及び佐久地域を地域高規格道路で結び、各地域の交通と産業経済の発展を図るために関係団体によって組織化された同盟会を通じ要望活動を行った。	国における広域道路整備基本計画に地域高規格道路としての位置付けがされるよう国及び県に要望活動を行う。
212	地域交通ネットワーク	市民の日常生活に必要な交通移動手段を確保・維持するため、民間交通事業者、市民と一体となって地域公共交通の充実に取り組みます。	B 具体的取り組みを実施中	市内公共交通の運行状況の検証に基づく運行ダイヤと運行経路の改正、利用者対象乗車ヒアリング調査、全市民対象アンケート調査、公共交通に関する懇談会、利用促進のための乗車体験会、利用促進と利便性向上のため市内巡回バスにバリアフリー車両3台の導入などを行った。	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共交通の利用者数は年々減少傾向を呈しているため、これに伴い運賃収入の減少が見込まれ、市の支出は増加すると認められる。</li> <li>利用者数が少ない路線の廃止</li> </ul>
221	土地利用	産業の活性化、雇用の増大を目指し、土地の有効利用を促進します。	B 具体的取り組みを実施中	国土利用計画の方針に沿って商業集積及び企業誘致が図られるよう市内適地について全庁横断的な体制で協議、検討を行った。	中部横断自動車道の佐久南IC以降の開通や北陸新幹線の延伸を控え、商業集積及び企業誘致に好機となる時期であるので雇用増大につながる土地利用を全庁的に推進していく必要がある。
222	市街地	都市計画マスタープランに基づき、地域の特性を生かしたまちづくりを進めます。	C 未着手（取り組みを検討中）	土地区画整理事業により、小規模で事業効果が得られる箇所や手法を検討した。	事業と地権者要望との調整を図り、同意を得て、事業計画・換地設計等に着手する。
223	住宅・宅地	公営住宅の管理方法について、指定管理者や管理代行制度などを研究し、効果的な手法を導入します。	B 具体的取り組みを実施中	平成24年10月から公営住宅については管理代行制度で、平成25年4月1日から公営住宅以外の市営住宅について指定管理者制度による管理方法に移行した。	今後は、管理代行と指定管理の業務内容の効率化を推進する。
231	高度情報通信ネットワーク	市内の（市外でも）どこでも市役所とつながる、「電子自治体」を実現します。	B 具体的取り組みを実施中	電子申請で手続きができる項目数の増加を図った。	年々利用者も増加していることから、市民のニーズは高いと思われるので、より一層利用できる項目数の増加と利用促進の広報を行っていく。

### 第3章 100万経済圏を目指した産業基盤の強化と新たな産業の創出

施策コード	施策名	チャレンジ	平成25年度の取り組み		今後の方針
			類型 ※	取り組み状況	
311	農業	本市の風土や条件に適した新品目の導入を図ります。	B 具体的取り組みを実施中	新品目導入試験圃場において青大豆「あやみどり」、カモミールの栽培、耕うん同時畝立て播種を行うなど、収益性の高い転作作物の実証と新技術の導入試験を実施するとともに、見学会、体験会を開催し、普及啓発を図った。	試験圃場における、収益性の高い転作作物の実証と新技術の導入試験を継続実施するとともに、優良品種の選定や栽培方法の実証を進める。また、「信州の伝統野菜」として選定された「佐久古太きゅうり」などの産地化を推進しブランド化を図る。
312	水産業	佐久鯉の消費拡大のために、新しい調理法や新商品を開発します。	B 具体的取り組みを実施中	鯉の持つ栄養価などの特長を知っていただくために、料理教室やレシピ本の作成を行った。	商業・観光業と連携した水産業の多面的な振興を図る。
313	林業	地場産材であるカラマツ材などを公共施設などに活用し、地場産材の利用を推進します。	B 具体的取り組みを実施中	平成24年度に策定した「佐久市公共建築物・公共土木等における木材利用促進方針」に基づき、市が行う公共事業は、できる限り地域材を利用することを周知した。	市が実施する公共事業における地域材利用の推進を通じて需要が生まれることにより、森林整備を促進していく。
321	商業・サービス業	商店会組織の機能強化と活性化を図り、地域商店街の魅力を向上させます。	B 具体的取り組みを実施中	各商店会組織が行う「まちおこし事業」等に対して、継続して支援を行った。また、地域商店街活性化法の認定を受けた岩村田本町商店街振興組合及び中込商店会協同組合については、国の補助対象事業に上乘せ補助をすることにより、集中的に支援を行った。	引き続き、商店街が自主的に実施する各種事業に積極的に支援するとともに、空き店舗解消のための補助金を創設し、魅力ある商店街の形成を図る。
331	観光	市民交流ひろばを活用した大型観光イベントを実現します。	B 具体的取り組みを実施中	市民交流ひろばでは、バルーンの搭乗体験による誘客のためのPRを行った。	各種イベントに積極的に参加し、首都圏、北陸、中京圏などにおける誘客宣伝活動など、積極的かつ効果的なPR活動を展開し、着地型観光を推進する。
341	工業	企業立地を実現させるとともに、医療・健康・福祉関連産業の創出と集積を目指します。	B 具体的取り組みを実施中	企業立地については、産業立地推進員の企業訪問により、迅速な対応の結果、平成24年度に2社、平成25年度に1社の立地に成功した。しかし、製造工場の海外移転等が進み国内での企業誘致は大変厳しい状況にあるため、業種を絞った企業誘致が行えていない状況である。既存企業の新産業創出のためのものづくりへの支援も実施した。	国内での立地動向がある内需産業としての、食品、医療、健康、物流への企業訪問を増加し、企業立地を推進するとともに、既存企業への新産業創出を支援していく。
351	就労・雇用	地域内の働く場と雇用機会を確保し、新規学卒者の地元企業への就職を促進します。	B 具体的取り組みを実施中	雇用確保・安定のために、関係機関との連携も含めて、支援を行った。	雇用情勢は改善しつつあるが、商工業だけではなく、農林業や介護・福祉などの新たな成長産業などへも、その時の状況に対応した支援策を検討していく。

#### 第4章 みんなが生涯現役で住みよい健康長寿のまちの形成

施策コード	施策名	チャレンジ	平成25年度の取り組み		今後の方針
			類型 ※	取り組み状況	
411	福祉のまちづくり	全地区が災害時住民支え合いマップを完成し、必要に応じて見直し更新を行います。	B 具体的取り組みを実施中	平成25年度末において、240区中213区でマップが作成された。	今後も社会福祉協議会等を通じて、マップ未作成の地区においての作成、また作成された地区においてはその見直しを進めていただくよう、推進していく。
412	高齢者福祉・介護保険	介護予防事業を通じ、健康寿命を延ばします。	B 具体的取り組みを実施中	地域包括支援センターと連携し、介護や生活相談の充実を図っている。	保健・医療・福祉・介護の各分野の連携を図り、高齢者を支援していく。
413	障がい者福祉	障がい児・者及び家族に対するライフステージに応じた一貫した相談支援体制の充実を目指します。	B 具体的取り組みを実施中	障害者総合支援法に基づく指定特定相談支援事業所・相談支援専門員の拡大について、障害福祉サービス事業所に働きかけた。発達障害及び発達の気になる児童に対し、成長段階ごとに関わる支援関係者が情報を共有し、一貫した支援ができるためのツールとして作成した「サポートブック虹のかけはし」を希望者に配布した。	平成26年度末までに、障害福祉サービスを利用している全対象者に、サービス等利用計画を作成していく。「サポートブック」については、今後も周知に努めるとともに、内容の見直しを図っていく。
421	健康増進	食育を通して食を大切にすることを育み、朝食を毎日食べる小学生・中学生の割合を100%にします。	B 具体的取り組みを実施中	広報において食育だよりを掲載し、啓発活動を行った。保育園・学校において食育活動を実施し、朝食摂取の必要性を啓発した。	今後も保育園や学校において、食育活動を継続・強化していく。市民全体に食育の必要性を啓発する。
422	保健活動	住みやすい社会を目指し、多様な悩みを抱える方を支援する絆を拡大するなど、「生きるための支援」に取り組むことにより、自殺者0人を目指します。	B 具体的取り組みを実施中	・毎日の電話相談事業として「こころのほっとライン佐久」を開設した。 ・毎月1回「こころの相談日」を設け、相談事業を実施した。 ・「ゲートキーパー養成講座」「心の健康づくり講座」を開催し自殺防止の啓発活動を行った。	・今後も相談事業は継続する。 ・相談電話をフリーダイヤル化し、より相談の環境を充実する。 ・関係機関、周辺市町村とも連携して啓発活動を実施する。
423	医療	市民・地域・医療機関との連携・協力を進め、日常の生活圏において必要なときに必要な医療サービスを受けることのできるよう地域に密着した地域完結型医療を構築します。	B 具体的取り組みを実施中	平日夜間や休日小児の初期救急医療を確保するため、浅間総合病院内に急病診療センターを開設している。また、初期救急から3次救急までの安定的な医療提供体制を確立するため、佐久総合病院再構築を支援するとともに、佐久医療センター開院後の医療機関の役割分担について、市民理解を得る取り組みを進めてきた。	今後も急病診療センターを継続して開設する。医療連携協議については、佐久医療センターが平成26年3月1日に開院を迎え、医療機関の役割分担が明確になる中で、医療の安定供給を促すための連携協議を継続するとともに、正しい医療機関のかかり方等について、引き続き市民に対する啓発活動を継続する。
424	医療保険・国民年金	特定健康診査の受診率を65%まで引き上げます。	B 具体的取り組みを実施中	・広報、FMさくいだいら、佐久ケーブルTV、未実施者への電話による受診勧奨 ・「受診券」の発送による医療機関への直接申し込みを可能とした。 ・10月の受診勧奨月間中の市内大型店での受診勧奨・広報車の市内巡回	定期的に診療を受けている者へのヘモグロビンA1C付加検査による特定健診とみなす診療を市内医療機関と協力を図り今年度より実施
431	母子保健	父母への啓発活動の強化などにより、乳幼児健診受診率100%を目指します。	B 具体的取り組みを実施中	妊娠中に実施するパパママ教室への参加を母子手帳の交付時に周知して参加を促し、教室では乳幼児健診の必要性等を啓発した。未受診者への受診勧奨を前日、当日の電話連絡、来所しない方へのはがき勧奨等を行った。	母子保健事業は、安心安全に産み育てるための基本事業であるため、今後も社会情勢等の状況を踏まえ、実施を強化していく。
432	子育て支援・児童福祉	本市の合計特殊出生率を1.6から1.9まで伸ばします。	B 具体的取り組みを実施中	各種施策を実施し、安心して産み育てることができる子育て支援環境の整備を行った。	合計特殊出生率が上昇するよう、今後も各種施策を実施することにより、安心して産み育てることができる子育て支援環境を提供していく。



## 第5章 水と緑きらめく自然と共に生きる快適環境の創出

施策コード	施策名	チャレンジ	平成25年度の取り組み		今後の方針
			類型 ※	取り組み状況	
511	環境保全	市内の自然エネルギーを用いた電力自給率、3%を目指します。	A 「チャレンジ!!」達成済	平成25年12月末の時点で、市内における自然エネルギーを用いた電力自給率は、4.52%であり、後期基本計画の目標である電力自給率3%を大幅に超えた。	新たに策定した「佐久市環境エネルギー重点プラン」に基づき、平成29年度までに市内の再生可能エネルギーを用いた電力自給率8%を目指していく。
512	街並み緑化・公園・景観形成	アダプトシステムによる公園管理の実施率を36%まで向上させます。	B 具体的取り組みを実施中	管理委託をしていた行政区等に対するアダプトシステムへの移行の働き掛けや広報佐久、市ホームページで募集を行い、25年度末で27公園で実施した。	25年度末で、アダプトシステムの実施率は43%となっているので、引き続き事業が継続されるように実施団体への援助を行っていく。
521	環境衛生	1人1日あたりのごみ排出量が少ない都市、全国1位を目指します。	B 具体的取り組みを実施中	ごみの減量化、及び再資源化施策を継続的に推進し、市民、事業者の皆さんへの啓発により取り組んだ。	目標とするところは、大変高いものであるが、目標に向け少しでも前進できるよう施策に取り組んでいく。
522	上水道	水を自然流下方式で配ることができ、地形を生かしながら、太陽光発電を導入するなどにより、環境に配慮した水道を構築します。	C 未着手（取り組みを検討中）	今年度は取り組みなし。	環境に配慮した水道の構築を検討していく。
523	下水道	市内の全戸水洗化を図ります。	B 具体的取り組みを実施中	平成22年度より、下水道供用開始区域の未接続世帯を対象に水洗化促進の戸別訪問を行っている。	今後も戸別訪問を継続し、未接続の理由を分析し、水洗化率の向上を図る。

## 第6章 市民生活の安全確保と市民満足度の向上

施策コード	施策名	チャレンジ	平成25年度の取り組み		今後の方針
			類型 ※	取り組み状況	
611	防災	地域ごとの特性を考慮した防災対策を推進し、地域防災の強いまちをつくります。	B 具体的取り組みを実施中	自主防災組織は、地域コミュニティが重要度を占めるため、防災の高揚を図るために出前講座等を通じ、各地域等で積極的な講演会等を展開した。	引き続き、「自助・共助・近助・公助」の役割について、各防災関係機関及び自主防災組織の防災組織体制力の向上を図る。更に、防災告知について、費用対効果等を検討し、充実を図る。
612	消防・救急	消防・救急体制を充実し、市民の財産・生命を守ります。	B 具体的取り組みを実施中	佐久消防署、北部消防署の庁舎新築及び消防指令センターの整備により消防・救急体制の充実を図っている。	佐久消防署、北部消防署の庁舎については、平成26年度に竣工する予定。また、消防指令センターの整備についても平成26年度内に完了する予定。
613	交通安全	交通事故死亡者数0（ゼロ）のまちを目指します。	B 具体的取り組みを実施中	幼稚園、保育園、小中学校、老人クラブ等における交通安全教室の開催、交通安全市民大会の開催、交通安全運動と連動した交通指導所の開設、年末における飲酒運転撲滅パトロール等、警察をはじめとした関係機関団体と協力して活動を行った。	交通安全運動に伴う交通指導所の開設、交通弱者（幼児児童高齢者）を対象とした交通安全教室の開催、佐久市交通安全市民大会の開催により、交通事故防止の啓発活動を行う。
614	防犯	地域防犯体制の充実と地域住民の防犯意識の高揚を図り、犯罪のないまちづくりを推進します。	B 具体的取り組みを実施中	防犯体制については、佐久市防犯協会等の団体と連携し、地域の防犯組織が年間を通じて活動した。その活動を通して、住民の防犯意識の高揚を図った。	引き続き、行政、防犯協会、警察、教育機関、PTAなど関係機関の連携を強化し、市民総ぐるみの防犯体制、防犯環境を整備していく。
615	消費生活	振り込め詐欺などの消費被害の根絶を目指します。	B 具体的取り組みを実施中	・佐久市消費生活センターの運用を開始し、消費者問題相談業務の充実を図った。 ・市内老人クラブに対し、高齢者悪質商法被害防止教室の開催を行った。	・高齢者の被害が増加する傾向にある中、講習会等に参加できない高齢者に対する被害防止教育を実施していく。
621	協働のまちづくり	佐久市市民活動サポートセンターを拠点として、市民活動支援のための情報ネットワークを構築し、人と人を結ぶ心豊かなまちをつくります。	B 具体的取り組みを実施中	サポートセンターを設置し、ワークショップに参加した市民で構成された市民団体に運営業務を委託した。公設民営による運営の利点を活かし、市民目線での支援業務を行った。様々な市民活動を結びつける核となることを目指し、市民活動に関する情報の収集・発信、相談・コーディネート、活動場所の提供等の業務を実施した。	今後も、情報の収集・発信、相談・コーディネート等の基幹機能の充実・強化に努める。また、市民活動の活性化を図るため、様々な活動団体や市民の交流の機会を提供し、また各種講座を開催する。
622	コミュニティの育成	一人ひとりの活力により、市民同士による共助と地域の魅力を高めます。	B 具体的取り組みを実施中	コミュニティの活性化のため、区への交付金交付を行った。区長会と行政の懇談の機会を設けるなど、連携強化に努めた。	都市化の進展と共に、区への加入率も低下しており、共助の精神は希薄化する傾向にあることから、区への活動への参加について理解が得られるよう努めていく。
623	公共施設	統廃合も含めた公共施設の適正配置と効率的な運営や維持管理を進めます。	B 具体的取り組みを実施中	平成25年度、保有する施設の現状と課題を把握することを目的とした「佐久市公共施設白書」を作成し、その結果を踏まえ、施設に関する市の基本的な考え方を明らかにするための「佐久市公共施設マネジメント基本方針」を策定した。	時代の変化に伴い、公共施設の適切かつ効率的な配置が求められているため、同種の施設の統廃合や遊休施設の有効活用など、公共施設の計画的な整備や施設に合った管理者の選定、長寿命化等の効率的運営を推進していく。

第6章 市民生活の安全確保と市民満足度の向上(続き)

施策コード	施策名	チャレンジ	平成25年度の取り組み		今後の方針
			類型 ※	取り組み状況	
624	行財政	自主財源の確保対策などにより、財政力指数の向上を目指します。	B 具体的取り組みを実施中	主たる自主財源である市税等の増額を図るため、既存企業に対する各種支援のほか、新たな企業の誘致等による地域経済の活性化に資する事業に対し、予算を重点配分した。	臨時財政対策債や合併特例事業債等の交付税算入のある起債の償還費の増に伴う基準財政需要額の増、地方経済の低迷による市民税の減少や土地価格の低迷による固定資産税の減少など基準財政収入額の減といった要因により、財政力指数の低迷が懸念される。しかし、企業誘致等の施策も徐々にではあるが成果を上げつつあることから、今後も実施計画を基本として地域経済の活性化施策への予算の重点配分を継続する。
625	広域連携	佐久地域の中心市としての役割を果たし、佐久地域全体の魅力向上と一体感のあるまちづくりを進めます。	B 具体的取り組みを実施中	平成23年度に策定した佐久地域定住自立圏共生ビジョンに基づき、関係市町村との連携事業を推進した。また、事業等の見直しを定期的に行い、対象事業の拡大を図り、地域全体又は必要な市町村で実施した。	関係市町村との連携・協力による取り組みを推進し、圏域全体の生活機能やネットワークの強化を図る。 佐久地域定住自立圏共生ビジョンの見直しを行い、社会情勢の変化に対し柔軟な対応をする。

章別まとめ	A 「チャレンジ!!」達成済	B 具体的取り組みを実施中	C 未着手(取り組みを検討中)	計
1 たくましく心豊かな人材の育成と地域文化の保存・継承と発祥	0	7	2	9
2 ネットワークで築く地域の個性・特色を生かした多機能都市づくり	0	5	1	6
3 100万経済圏を目指した産業基盤の強化と新たな産業の創出	0	7	0	7
4 みんなが生涯現役で住みよい健康長寿のまちの形成	0	9	0	9
5 水と緑きらめく自然と共に生きる快適環境の創出	1	3	1	5
6 市民生活の安全確保と市民満足度の向上	0	10	0	10
<b>総合</b>	<b>1</b>	<b>41</b>	<b>4</b>	<b>46</b>